

Ⅲ 誰もが自分の可能性を広げ、生きがいをもって一人ひとりが輝ける社会をつくる

兵庫の未来を担う人づくりを進めるとともに、誰もが自分の可能性を広げ、能力を發揮できる環境づくりを進めます。光と影をつくらない。誰もが多様な選択肢の中から自ら選び、生きがいを持って輝ける兵庫をつくりまします。

1 「子育てするなら兵庫プロジェクト」を展開します

(23) 結婚・出産・子育ての不安を解消します

- 若者が出会いから結婚へと安心して進んでいけるよう、若者の就労の安定や住宅定住支援を行うことで経済的な自立を促します。
- 妊娠・出産への不安を解消するため、地域の協力病院との連携体制を構築し、出産前後の高度医療を担う周産期医療体制を充実します。不妊不育に悩む女性と家庭の相談体制の強化や支援を行います。
- 子育ての不安や悩みを共有し、解消していくため、SNSやオンラインを活用した相談体制を強化します。

(24) 待機児童ゼロ作戦をはじめとした子育てしやすい環境づくりを強化します

- 保育所、認定こども園の整備、都市部で開設が容易な小規模保育事業など地域の実情に合わせた多様な受け皿整備や定員の上乗せなどにより、早期の待機児童の解消をめざします。
- 小学校の余裕教室などを活用し放課後児童クラブの待機者もなくします。
- 経験豊富な保育士、児童支援員の育成や専門性の向上、保育士、児童支援員等の処遇や配置の改善など人材確保のための支援の充実も検討します。
- 病児・病後児保育や医療的ケアが必要な子どもを支える医療従事者、保育士などのスキルアップや処遇改善などの支援に積極的に取り組みます。
- ライフステージの変化に応じて多様な働き方が選べる環境を整えます。結婚、出産、育児でキャリア形成が途切れることがなく、ワーク・ライフ・バランスを誰もが実践でき、第2子、第3子を持ちやすい社会に変えていきます。
- 民間の家事代行サービスやシェアリングエコノミーの活用など、働く女性の家事・育児を支援する仕組みを創設します。

(25) 子育て家庭への経済的負担の軽減を進めます

- 国の幼児教育無償化の今後の動向や子ども庁の創設などを踏まえ、保育、幼児教育、医療など子育て家庭の経済的負担の一層の軽減を検討します。
- 在宅育児世帯に対して、子育て支援サービスを利用できるクーポン券を配布するなど、家庭で育児を行う保護者の心理的・経済的負担を軽減する仕組みを検討します。

(26) 向こう三軒両隣の精神で地域全体で子育てを支えます

- 子育て支援機関や団体の活動拠点である県立こどもの館のランチを阪神地域に設置します。
- 家族の支え合いによる子育てを進めるため、住宅改修や住宅ローン利子補給の支援等により、三世帯同居・近居の環境整備を促進します。
- まちの子育てひろばの機能強化など、親子が気軽に集って、子育ての悩みについて気軽に話し合い、少しの息抜きができる場づくりを強化します。

2 個性を育み能力を伸ばし、多様な選択ができる教育環境をつくります

(27) 学びの質を高め、社会でたくましく生きぬくための学力・能力を育成します

- 全国に先んじて取組んできた兵庫型教科担任制を活かしながら、地域の実情に応じて、段階的に30人学級編成の導入を進め、学びの質を高めます。当面は、小学校5～6年生の35人学級編成の導入を適切に行います。
- 経験豊富なスーパーティチャーの配置・派遣を強化し、学力向上に取り組めます。合わせて、授業準備等の業務を補助するスクール・サポート・スタッフの配置を進めます。
- 世界で活躍できる専門人材を育成するため、大学の専門課程を高校段階で学べる高校-大学接続プログラムを実施するモデル校を増やし、強化します。
- データサイエンスに基づく課題分析や、AI・IoT等の社会実装による課題解決など、新たな価値を創造する人材育成に向けた兵庫型 STEAM※教育をさらに展開します。
※ Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(ものづくり)、Art(芸術)、Mathematics(数学)を統合的に学習する教科横断型の教育

(28) 多様な価値観を尊重できる子どもを育てるため、体験教育や対話重視、探求型教育を広げます。

- 他者を思いやることができ、多様な価値観を尊重できる子どもを育てます。全国に先んじて行われた子どもの発達段階に応じた体験教育について、地域の意見を踏まえ、時代に合わせたものに進化させます。
- 自然体験や異文化体験などを通じた多様な価値観を育て、生きる力を育む保育・幼児教育の展開を支援するなど、就学前教育の質を高めます。
- 義務教育課程から、対話重視、探求型の教育手法も積極的に取り入れ、発想力、コミュニケーション能力を高め、世界で活躍できる人材を育成します。

(29) 「ICTサポートチーム」の創設など、デジタル化をはじめ社会の変化に適応した教育環境を整備します

- 大学生や民間のIT人材を活用した「ICTサポートチーム」を教育事務所単位で結成し、授業のオンライン化や教員の技術支援を行うことにより、デジタル教育を抜本的に強化します。

○各学校と直結した高速通信ネットワークと ICT 機器を活用し、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな学習支援を行うなど学びの質を高めます。

(30) 多様な選択肢の中から自分で学びたいことを選べる学校を創ります。

○増加の一途にある子どもの不登校の問題に取り組めます。ICTを活用し不登校の児童・生徒を対象とした学びの場づくりと不登校児童生徒へのきめ細かく柔軟な対応を両輪とする「不登校ゼロ作戦」を展開します。

○夜間中学の新設や既存夜間中学の広域的受け入れを支援します。

○建学の精神に基づく特色ある教育を行う私立学校の支援を強化します。私立高校等の就学支援金は、まずは低所得者世帯に重点化して県独自加算を実施します。高校生の公私比率は堅持を原則とします。

3 誰もが持てる力を発揮できる地域をつくります

(31) 障害の有無などの違いに関わりなく、誰もが安心して生活できるユニバーサル社会づくりを進めます

○意思疎通や移動の困難さを抱える聴覚障害者や盲ろう者などへの理解促進のための講座の開設や手話通訳士などの人材育成、点字普及などを進めます。

○生きづらさを抱え、孤立しがちな人に、もっと目を向けます。精神障害やひきこもり、不登校など心の健康を損なっても孤立することのないよう、地域の支援体制を充実します。

○障害児者一貫したりハビリテーション体制の強化を進めます。障害者支援施設の個室やユニット化など入所施設の充実に取り組むなど障害者の生活支援・自立支援を進めます。

○障害者の重度化、高齢化や親亡き後を見据え、地域での生活支援の中核的な役割を担う医療支援型のグループホームなどの整備を積極的に支援します。

○障害者や高齢者が安心して鉄道を利用できる環境を整えます。一日乗降客数3千人以上の鉄道駅舎のバリアフリー化を完成させます。ホームドアについては、駅の乗降客数だけでなく、事故発生件数も考慮して設置を進めます。

(32) 生活困窮者・世帯、ひとり親家庭などの自立に向けた生活、福祉、就労、住宅、教育など総合的に支援します

○ひとり親の生活の負担軽減に加え、ひとり親家庭の就業を支援します。就職に有利な資格や技能習得を支援し、自立を促進します。

○80代の親が家に引きこもる50代の子どもの生活を支える「8050問題」に向き合います。市町と連携して実態の把握に努め、問題解決への道筋を考えます。

○介護や幼い家族の世話などを引き受けている若者（ヤングケアラー）対策に教育と福祉の両面から取り組みます。

- 家庭で余っている食品を持ち寄り、福祉団体・施設等に寄付するフードドライブの仕組みを構築します。子ども食堂の開設支援や子どもの就学支援、学習支援などにも取り組みます。
- 刑務所出所者等への就労支援により、再犯を防止し、刑務所に戻さないための取組を進めます。
- 低所得者、ひとり親、独居の高齢者など、住まいの確保に不安を抱える方が、円滑に入居できるセーフティネット住宅の整備を促進します。

(33) DV、差別、人権侵害を見逃さない社会をつくります

- DVから逃れ、自立への第一歩の拠点となるシェルター開設を支援します。相談体制や民間・NPO団体などの活動を支援します。
- 人権侵害、部落差別、拉致問題、犯罪被害者や性的マイノリティの方々への差別など、身近な人権課題への正しい理解を普及します。増加するインターネットへの差別的な書き込みに対しモニタリング等の対策を強化します。

(34) いじめや児童虐待を許さない社会を築きます

- いじめ未然防止、早期発見、早期対応、フォローアップまで行う体制を地域や法律関係者などが参画して構築します。
- こども家庭センターに新たな機能（在宅育児家庭への訪問型の育児相談機能等）を加えた「こども家庭総合支援センター(仮称)」を整備するなど、児童虐待対策等を強化します。
- 専門人材の育成、地域の企業との協働や職員の対応能力向上を図り、こども家庭センターの機動力・専門性を向上させます。

4 芸術やスポーツの担い手が生き生きと輝き、文化として地域に根付く環境をつくります

(35) 芸術や伝統文化を守り、育て、地域で身近に楽しめる環境を充実します

- 「心のビタミン」と言われ、暮らしに彩りを与える芸術文化が身近に感じられる文化力の高いまちをつくるため、県民による芸術文化活動団体が取り組む活動を支援します。動画配信も含め多様な芸術文化の鑑賞機会を作ります。
- 学校や公共施設に出向き、若い世代の体験の場を積極的に提供し、芸術文化の担い手の裾野を広げます。
- 芸術文化センター、県立美術館、陶芸博物館、歴史博物館、考古博物館など県立施設ならではの多彩で魅力的な公演、企画展、体験型の催しを実施します。
- 地域のお祭りを盛り上げます。地域の伝統行事や伝統文化の再生・活性化に取り組む人を応援します。各地にある文化会館機能を充実させます。

(36) 誰もがスポーツを楽しみ、挑戦できるスポーツ王国・兵庫をめざします。

- 兵庫で活躍し、世界に羽ばたく未来のアスリートの発掘、活躍を支援します。
- 大規模大会の誘致や競技人口の裾野拡大、競技力向上を図るために全県スポーツ拠点のリノベーションを計画的に進めます。誰もが健康づくりのために気軽にスポーツや運動を行える地域の拠点を整備します。
- 県内すべての小学校区に設立された地域スポーツクラブ（スポーツクラブ 21 ひょうご）について、運営体制の強化、指導者の育成、企業・団体との連携促進等により活性化させます。
- 障害者スポーツのさらなる振興を図るためのトレーニングセンターの整備を進めます。